

# 主催者団体挨拶

## 綿貫民輔 全国道路利用者 会議会長



皆さん、こんにちは。全国の皆様にも改めてお見舞いを申し上げます。安全・安心の道づくりを求める全国大会を、交通委員長を初め多数の国会議員・ご来賓のご出席を賜り、厚く御礼申し上げます。また、会場には、全国各地から生活道路や地域活性化のための道路など真に必要な道路の整備を求める皆さん、被災地から一刻も早い復旧・復興を望まれる大勢の方々が集まりの運びです。

私どもは、毎年この大会で、公共事業の重要性、特に道路の必要性を強く訴え続けてまいりました。しかし、今、道路を初めとする公共事業は、とんでもない公共事業悪玉論のもとで大変厳しい状況に置かれてまいりました。その結果、現在の公共事業費は、平成10年度のピーク時の半分以下に減らされており、これ以上削減の余地など全くない状況になりました。一体道路整備の現状をどのように認識し、どのような議論がなされた評価結果なのか、全く理解できるものではありません。「コンクリートから人へ」といういかにも聞こえのいい言葉に惑わされ

た結果が現状ではないでしようか。全国には、毎日、経済活動や通勤・通学、医療体制など、すべてに影響する、生活を支える命の道の整備を求める声があふれております。

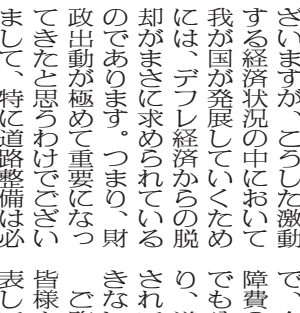
このたびの大震災では、いち早く、「く」の歯作戦」と称される緊急ルート

の啓開により援助活動や支那物資の緊急輸送を支えただけでなく、堤防的な役割を果たし、被害地や住民を救い、まさに道路が命の道となりました。安全・安心の道づくりは何も被災地に限った話ではありません。常に人命を守る、生活を守るということを念頭に置き、事前に措置を講じておくことが求められているのであります。我々には命の道の整備・促進を実現させていく使命が課せられていると考えております。

さらに、現在、ギリシャを

# 来賓挨拶

## 岡田直樹 参議院国土交通 委員長



問題に端を発した世界経済の不安と不振はギリシャからイタリヤへと移り、この世界的な財政危機状況は当分の間続くものと見られます。我が国も大きな影響を受け続けると思っております。

このたびの大震災では、我が国が発展していくためには、デフレ経済からの脱却がまさに求められているのであります。つまり、財政出動が極めて重要になってきたと思っております。

ご臨席いただいた会員の皆様を初め、全国各地を代表して本日ここに集まりたいだいた多くの皆さん、本日の大会は、将来の子供や孫の世代のために、命を守る道づくり、安全・安心のための道づくりの実現に向けての最大のアピール大会であります。どうかこの熱い願いに絶大なご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。ご挨拶といたした

ただいまご紹介をいただきました。参議院国土交通委員長の岡田でございます。

本日は、道路関係四団体の皆様から全国各地の多数の皆さんが参加され、熱気あふれる安全・安心の道づくりを求める全国大会が開催されましたこと心から敬意を表し、また感謝申し上げます。

本日は、道路関係四団体の皆様から全国各地の多数の皆さんが参加され、熱気あふれる安全・安心の道づくりを求める全国大会が開催されましたこと心から敬意を表し、また感謝申し上げます。

たいと存じます。さて、もはや繰り返すまでもありません。既にたいたいの皆様にもご挨拶を申し上げます。東日本大震災の発生とその甚大な被害は、私たちがかねて確信し、主張し続けてまいりました道路整備の必要性を改めて痛感させられたように思います。

ただいま綿貫先生や石原都知事もおっしゃいました、「コンクリートから人へ」というスローガンがあり、最近では誰もそんなことを言う人はいなくなりました。安全・安心の道づくり、言葉を変えれば命の道づくりが急務であることを、私

# 主催者団体挨拶

## 石原慎太郎 全国街路事業促進協議会会長



皆さん、こんにちは。全国の皆様にも改めてお見舞いを申し上げます。安全・安心の道づくりを求める全国大会を、交通委員長を初め多数の国会議員・ご来賓のご出席を賜り、厚く御礼申し上げます。また、会場には、全国各地から生活道路や地域活性化のための道路など真に必要な道路の整備を求める皆さん、被災地から一刻も早い復旧・復興を望まれる大勢の方々が集まりの運びです。

私どもは、毎年この大会で、公共事業の重要性、特に道路の必要性を強く訴え続けてまいりました。しかし、今、道路を初めとする公共事業は、とんでもない公共事業悪玉論のもとで大変厳しい状況に置かれてまいりました。その結果、現在の公共事業費は、平成10年度のピーク時の半分以下に減らされており、これ以上削減の余地など全くない状況になりました。一体道路整備の現状をどのように認識し、どのような議論がなされた評価結果なのか、全く理解できるものではありません。「コンクリートから人へ」といういかにも聞こえのいい言葉に惑わされ

た結果が現状ではないでしようか。全国には、毎日、経済活動や通勤・通学、医療体制など、すべてに影響する、生活を支える命の道の整備を求める声があふれております。

このたびの大震災では、我が国が発展していくためには、デフレ経済からの脱却がまさに求められているのであります。つまり、財政出動が極めて重要になってきたと思っております。

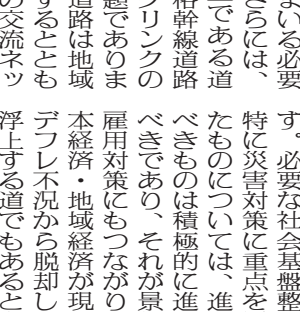
ご臨席いただいた会員の皆様を初め、全国各地を代表して本日ここに集まりたいだいた多くの皆さん、本日の大会は、将来の子供や孫の世代のために、命を守る道づくり、安全・安心のための道づくりの実現に向けての最大のアピール大会であります。どうかこの熱い願いに絶大なご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。ご挨拶といたした

たいと存じます。さて、もはや繰り返すまでもありません。既にたいたいの皆様にもご挨拶を申し上げます。東日本大震災の発生とその甚大な被害は、私たちがかねて確信し、主張し続けてまいりました道路整備の必要性を改めて痛感させられたように思います。

ただいま綿貫先生や石原都知事もおっしゃいました、「コンクリートから人へ」というスローガンがあり、最近では誰もそんなことを言う人はいなくなりました。安全・安心の道づくり、言葉を変えれば命の道づくりが急務であることを、私

# 主催者団体挨拶

## 石原慎太郎 全国街路事業促進協議会会長



皆さん、こんにちは。全国の皆様にも改めてお見舞いを申し上げます。安全・安心の道づくりを求める全国大会を、交通委員長を初め多数の国会議員・ご来賓のご出席を賜り、厚く御礼申し上げます。また、会場には、全国各地から生活道路や地域活性化のための道路など真に必要な道路の整備を求める皆さん、被災地から一刻も早い復旧・復興を望まれる大勢の方々が集まりの運びです。

私どもは、毎年この大会で、公共事業の重要性、特に道路の必要性を強く訴え続けてまいりました。しかし、今、道路を初めとする公共事業は、とんでもない公共事業悪玉論のもとで大変厳しい状況に置かれてまいりました。その結果、現在の公共事業費は、平成10年度のピーク時の半分以下に減らされており、これ以上削減の余地など全くない状況になりました。一体道路整備の現状をどのように認識し、どのような議論がなされた評価結果なのか、全く理解できるものではありません。「コンクリートから人へ」といういかにも聞こえのいい言葉に惑わされ

た結果が現状ではないでしようか。全国には、毎日、経済活動や通勤・通学、医療体制など、すべてに影響する、生活を支える命の道の整備を求める声があふれております。

このたびの大震災では、我が国が発展していくためには、デフレ経済からの脱却がまさに求められているのであります。つまり、財政出動が極めて重要になってきたと思っております。

ご臨席いただいた会員の皆様を初め、全国各地を代表して本日ここに集まりたいだいた多くの皆さん、本日の大会は、将来の子供や孫の世代のために、命を守る道づくり、安全・安心のための道づくりの実現に向けての最大のアピール大会であります。どうかこの熱い願いに絶大なご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。ご挨拶といたした

たいと存じます。さて、もはや繰り返すまでもありません。既にたいたいの皆様にもご挨拶を申し上げます。東日本大震災の発生とその甚大な被害は、私たちがかねて確信し、主張し続けてまいりました道路整備の必要性を改めて痛感させられたように思います。

ただいま綿貫先生や石原都知事もおっしゃいました、「コンクリートから人へ」というスローガンがあり、最近では誰もそんなことを言う人はいなくなりました。安全・安心の道づくり、言葉を変えれば命の道づくりが急務であることを、私

# 主催者団体挨拶

## 東京都知事 石原慎太郎 全国街路事業促進協議会会長



皆さん、こんにちは。全国の皆様にも改めてお見舞いを申し上げます。安全・安心の道づくりを求める全国大会を、交通委員長を初め多数の国会議員・ご来賓のご出席を賜り、厚く御礼申し上げます。また、会場には、全国各地から生活道路や地域活性化のための道路など真に必要な道路の整備を求める皆さん、被災地から一刻も早い復旧・復興を望まれる大勢の方々が集まりの運びです。

私どもは、毎年この大会で、公共事業の重要性、特に道路の必要性を強く訴え続けてまいりました。しかし、今、道路を初めとする公共事業は、とんでもない公共事業悪玉論のもとで大変厳しい状況に置かれてまいりました。その結果、現在の公共事業費は、平成10年度のピーク時の半分以下に減らされており、これ以上削減の余地など全くない状況になりました。一体道路整備の現状をどのように認識し、どのような議論がなされた評価結果なのか、全く理解できるものではありません。「コンクリートから人へ」といういかにも聞こえのいい言葉に惑わされ

た結果が現状ではないでしようか。全国には、毎日、経済活動や通勤・通学、医療体制など、すべてに影響する、生活を支える命の道の整備を求める声があふれております。

このたびの大震災では、我が国が発展していくためには、デフレ経済からの脱却がまさに求められているのであります。つまり、財政出動が極めて重要になってきたと思っております。

ご臨席いただいた会員の皆様を初め、全国各地を代表して本日ここに集まりたいだいた多くの皆さん、本日の大会は、将来の子供や孫の世代のために、命を守る道づくり、安全・安心のための道づくりの実現に向けての最大のアピール大会であります。どうかこの熱い願いに絶大なご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。ご挨拶といたした

たいと存じます。さて、もはや繰り返すまでもありません。既にたいたいの皆様にもご挨拶を申し上げます。東日本大震災の発生とその甚大な被害は、私たちがかねて確信し、主張し続けてまいりました道路整備の必要性を改めて痛感させられたように思います。

ただいま綿貫先生や石原都知事もおっしゃいました、「コンクリートから人へ」というスローガンがあり、最近では誰もそんなことを言う人はいなくなりました。安全・安心の道づくり、言葉を変えれば命の道づくりが急務であることを、私

非常に条件の悪いところに設置されてきて、また、それが変わらなければならぬという状況の中にあるわけです。確かにモノ、モノ、モノという物心性というのは、人間にとつて好ましくないかもしれないけれども、今の政権が出来上がって、わけのわからないことをしてきまして、これは、時代が変わり、国が変わっても否定できない1つの原理だと思っております。

というところで、綿貫さん

も言いましたけれども、「コンクリートから人へ」というのは体裁はいいかもありませんが、全く内容がない言葉であり、今の政権が出来上がって、わけのわからないことをしてきまして、これは、時代が変わり、国が変わっても否定できない1つの原理だと思っております。

というところで、綿貫さん

も言いましたけれども、「コンクリートから人へ」というのは体裁はいいかもありませんが、全く内容がない言葉であり、今の政権が出来上がって、わけのわからないことをしてきまして、これは、時代が変わり、国が変わっても否定できない1つの原理だと思っております。

というところで、綿貫さん

現場に出てきて2人で記者会見して、あつという間に凍結を解除いたしました。さてその後、今度の政府になってこれがかかるとなると、これは東京のためじゃなくて、外環というものがなかったら、災害が東京で起こったときに東日本と西日本が分断されてしまわなければならない。そういうことを考えると、私は日本政府に建言してきたんだけれども、全然動きません。馬耳東風というのか、何を考えているのかさっぱりわかりません。これをつくった皆さんにも、私達にも責任があるわけだろというわけだ。

しかし、私たちは、「コンクリートから人へ」は結構だけれども、今度の災害が起つてみると、人と人との連携は必要でありま

現場に出てきて2人で記者会見して、あつという間に凍結を解除いたしました。さてその後、今度の政府になってこれがかかるとなると、これは東京のためじゃなくて、外環というものがなかったら、災害が東京で起こったときに東日本と西日本が分断されてしまわなければならない。そういうことを考えると、私は日本政府に建言してきたんだけれども、全然動きません。馬耳東風というのか、何を考えているのかさっぱりわかりません。これをつくった皆さんにも、私達にも責任があるわけだろというわけだ。

しかし、私たちは、「コンクリートから人へ」は結構だけれども、今度の災害が起つてみると、人と人との連携は必要でありま

現場に出てきて2人で記者会見して、あつという間に凍結を解除いたしました。さてその後、今度の政府になってこれがかかるとなると、これは東京のためじゃなくて、外環というものがなかったら、災害が東京で起こったときに東日本と西日本が分断されてしまわなければならない。そういうことを考えると、私は日本政府に建言してきたんだけれども、全然動きません。馬耳東風というのか、何を考えているのかさっぱりわかりません。これをつくった皆さんにも、私達にも責任があるわけだろというわけだ。

しかし、私たちは、「コンクリートから人へ」は結構だけれども、今度の災害が起つてみると、人と人との連携は必要でありま

す。友情は必要ですが、人間が手をつないでただけで津波は防げません。やはり防波堤をつくらなければならぬ。そういう自明の理というものも、今度の災害が明かしてくれたと私は思っています。今の政府がいつまでも続くかわかりませんが、日本人全体がもう少し冷静になって、原発の問題もそうです。これから何%の成長を何年間で遂げるか、それのためにエネルギーがどれだけ必要かということを全然わかっていない。原発反対と言っています。聞かせるい

す。友情は必要ですが、人間が手をつないでただけで津波は防げません。やはり防波堤をつくらなければならぬ。そういう自明の理というものも、今度の災害が明かしてくれたと私は思っています。今の政府がいつまでも続くかわかりませんが、日本人全体がもう少し冷静になって、原発の問題もそうです。これから何%の成長を何年間で遂げるか、それのためにエネルギーがどれだけ必要かということを全然わかっていない。原発反対と言っています。聞かせるい

す。友情は必要ですが、人間が手をつないでただけで津波は防げません。やはり防波堤をつくらなければならぬ。そういう自明の理というものも、今度の災害が明かしてくれたと私は思っています。今の政府がいつまでも続くかわかりませんが、日本人全体がもう少し冷静になって、原発の問題もそうです。これから何%の成長を何年間で遂げるか、それのためにエネルギーがどれだけ必要かということを全然わかっていない。原発反対と言っています。聞かせるい